

宮崎県経済の動き (平成24年)

目 次

1 全体の概況	1
2 経済指標の動き	3

平成25年10月

宮崎県総合政策部統計調査課

1 全体の概況

消費・投資面は一部に明るさがみられるものの全体としては低調に推移し、生産活動にも弱さがみられるなど、本県経済全体では弱い動きとなった。雇用の面では依然厳しい状況にあるが、緩やかな改善の動きが続いている。

<各分野の動き>

(1) 生産関連

鉱工業生産指数は年平均で前年を上回り、大口電力使用量は前年を下回った。

鉱工業生産指数は、94.2で前年を1.1%上回り、鉱工業出荷指数は、94.3で同じく0.3%上回った。また、鉱工業在庫指数は、119.9で前年を2.3%下回った。大口電力使用量は、約21億2千万kwhで前年比で5.5%下回った。

(2) 消費関連

新車登録・届出台数、航空便利用客数、主要ホテル・旅館宿泊者数は、前年を上回り、大型小売店販売額は低調に推移した。

大型小売店販売額は、約884億円で前年を0.8%下回った。
新車登録・届出台数は、新車登録台数（排気量660cc超）が約2万7千台で前年を31.2%上回り、新車届出台数（同660cc以下）は約2万7千台で前年を34.8%上回った。
航空便利用客数は、台湾便を除く乗降客数が約263万9千人で、前年を10.0%上回った。
主要ホテル・旅館宿泊客数は、約105万3千人で前年を7.5%上回った。
消費者物価指数は、総合指数が99.9で前年を0.1%上回り、生鮮食品を除く総合指数が99.9で同じく0.1%上回った。

(3) 雇用・労働関連

有効求人倍率、新規求人数が前年に引き続き改善した。

有効求人倍率は、0.69倍で前年を0.11ポイント上回った。
新規求職申込件数は、約8万件で前年を8.2%下回り、新規求人数は、約8万6千人で前年を11.2%上回った。
実質賃金指数（きまって支給する給与）は、99.1で、前年を0.9%上回り、総実労働時間指数は、98.6で同じく1.1%下回り、所定外労働時間指数は、108.5で同じく1.0%下回り、常用雇用指数は、100.8で同じく1.3%上回った。

(4) 投資関連

新設住宅着工戸数は前年を上回り、公共工事請負金額は前年を下回った。

新設住宅着工戸数は、6,754戸で前年を11.2%上回った。
公共工事請負件数は、4,703件で前年を3.3%下回り、請負金額は、約1,369億円で同じく0.4%下回った。

(5) 経営・金融関連

平成18年以降、預金残高、貸出金残高ともに増加が続いている。

企業倒産件数は、68件で前年比19.3%増加したものの、負債額は約197億円で前年よりも12.5%増加した。
金融機関預金・貸出金残高は、12月末時点で預金残高は約3兆9千億円で前年末を1.4%上回り、貸出金残高も、2兆3千億円で前年末を2.9%上回った。

<景気動向指数>

統合的な景気指標である景気動向指数（一致指数）は、年当初は50%以上で推移したが、6月に50%を下回り、年後半はおおむね50%以下で推移した。

○ 主な経済指標（宮崎県）

下段：「単位」の欄に注釈のある項目を除き、前年比(%)

分野	指標	単位	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
生産	鉱工業生産指数 (原指数)	(H17=100)	98.9 7.6	82.7 16.4	102.8 24.3	93.2 9.3	94.2 1.1
	鉱工業出荷指数 (原指数)	(H17=100)	102.2 6.5	86.6 15.3	99.2 14.5	94.0 5.2	94.3 0.3
	鉱工業在庫指数 (原指数)	(H17=100)	111.0 1.6	114.0 2.7	120.9 6.1	122.7 1.5	119.9 2.3
	大口電力使用量	千kwh	2,326,015 2.6	1,932,747 16.9	1,945,935 0.7	2,237,660 15.0	2,115,156 5.5
消費	大型小売店 販売額	百万円	89,268 4.5	85,972 3.7	90,594 0.7	89,144 5.5	88,399 0.8
	新車登録台数	台	22,401 7.0	22,703 1.3	25,920 14.2	20,337 21.5	26,675 31.2
	新車届出台数	台	25,272 1.6	22,804 9.8	23,468 2.9	19,756 15.8	26,625 34.8
	航空便 乗降客数	人	2,982,696 2.1	2,698,204 9.5	2,661,538 1.5	2,394,103 10.0	2,638,577 10.2
	主要ホテル・ 旅館宿泊客数	人	1,173,461 4.9	1,035,785 11.7	999,736 3.5	979,463 2.0	1,052,673 7.5
	消費者物価指数 (総合指数) 宮崎市	(H22=100)	102.8 3.0	101.2 1.6	100.0 1.2	99.8 0.2	99.9 0.1
	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合指数) 宮崎市	(H22=100)	102.9 3.3	101.5 1.4	100.0 1.5	99.8 0.2	99.9 0.1
雇用・労働	有効求人倍率 (原数値)	倍 <small>※前年差:ポイント</small>	0.56 0.11	0.39 0.17	0.45 0.06	0.58 0.13	0.69 0.11
	新規求職申込件数	件	77,201 3.2	87,307 13.1	88,158 1.0	87,237 1.0	80,102 8.2
	新規求人数	人	62,712 16.3	57,100 8.9	65,205 14.2	77,631 19.1	86,294 11.2
	実質賃金指数 (きまって支給する給与)	(H22=100)	102.4 2.3	100.0 2.3	100.0 0.0	98.2 1.8	99.1 0.9
	総実労働 時間指数	(H22=100)	101.4 1.0	100.1 1.3	100.0 0.1	99.7 0.3	98.6 1.1
	所定外労働 時間指数	(H22=100)	109.8 9.9	97.4 11.3	100.0 2.7	109.6 9.6	108.5 1.0
	常用雇用指数	(H22=100)	108.6 4.9	102.0 6.1	100.0 2.0	99.5 0.5	100.8 1.3
投資	新設住宅 着工戸数	戸	7,811 7.2	5,602 28.3	5,738 2.4	6,076 5.9	6,754 11.2
	公共工事 請負件数	件	5,168 13.7	5,874 13.7	4,809 18.1	4,863 1.1	4,703 3.3
	公共工事 請負金額	百万円	165,601 4.1	173,814 5.0	147,412 15.2	137,540 6.7	136,947 0.4
経営・金融	企業倒産件数	件	107 2.9	77 28.0	65 15.6	57 12.3	68 19.3
	企業倒産負債額	百万円	80,448 134.1	13,279 83.5	15,238 14.8	17,507 14.9	19,698 12.5
	金融機関預金残高	億円	35,855 1.5	36,714 2.4	37,763 2.9	38,373 1.6	38,915 1.4
	金融機関貸出金残高	億円	21,183 1.8	21,433 1.2	22,261 3.9	22,718 2.1	23,375 2.9

注) 航空便利用客数は、台湾便を除きます。

2 経済指標の動き

生産関連

～ 一部の業種に回復の動きがあるものの、全体としては弱さがみられた ～

(1) 鉱工業指数

- 生産指数は 94.2で、前年を 1.1%上回った。
- 出荷指数は 94.3で、前年を 0.3%上回った。
- 在庫指数は 119.9で、前年を 2.3%下回った。

生産指数では、「食料品工業」が上昇に寄与した。

生産指数の上昇に寄与した主な業種

- ① 食料品工業
103.3(前年比 10.1%)
- ② 輸送機械工業
108.0(前年比 20.9%)
- ③ 電子部品・デバイス工業
99.0(前年比 1.1%)

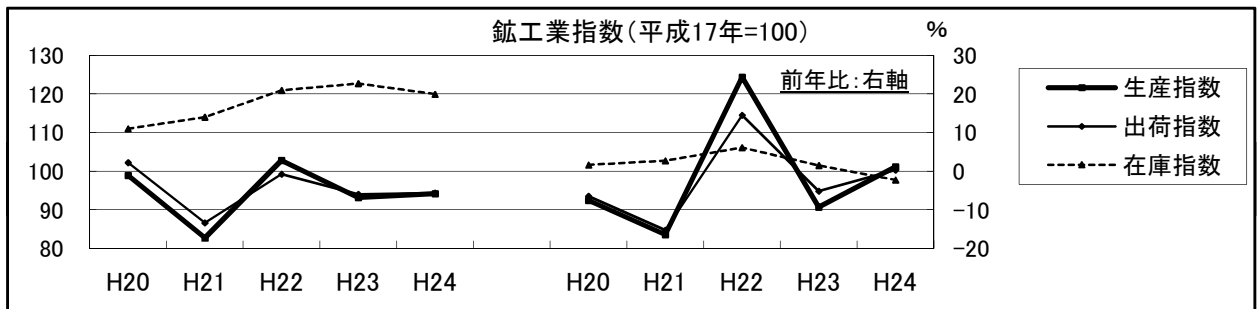
※ 年指数は原数値、四半期指数は季節調整済指数である。

< 3-1表 >

平成17年=100 単位：%

	生産指数		出荷指数		在庫指数	
		前年(期)比		前年(期)比		前年(期)比
H20	98.9	7.6	102.2	6.5	111.0	1.6
H21	82.7	16.4	86.6	15.3	114.0	2.7
H22	102.8	24.3	99.2	14.5	120.9	6.1
H23	93.2	9.3	94.0	5.2	122.7	1.5
H24	94.2	1.1	94.3	0.3	119.9	2.3
H24	99.2	14.4	97.4	7.4	120.6	0.7
	91.2	8.1	93.9	3.6	120.5	0.1
	92.3	1.2	92.6	1.4	119.1	1.2
	92.3	0.0	91.8	0.9	119.5	0.3

(資料：県統計調査課)



(2) 大口電力使用量

- 大口電力使用量は約21億2千万kWh で、前年を5.5%下回った。

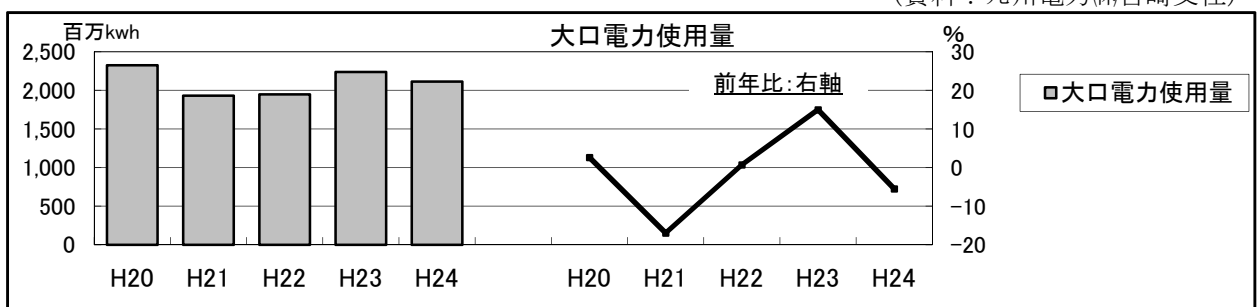
産業別に見ると、繊維、紙・パルプ、ゴム製品の使用量が減少した。

< 3-2表 >

単位：千kWh、%

	大口電力使用量	
		前年(同期)比
H20	2,326,015	2.6
H21	1,932,747	16.9
H22	1,945,935	0.7
H23	2,237,660	15.0
H24	2,115,156	5.5
H24	563,176	19.2
	555,778	25.2
	577,887	10.4
	540,819	1.2

(資料：九州電力(株)宮崎支社)



消費関連

～ 一部に明るさがみられるものの、全体としては低調に推移した ～

(3) 大型小売店販売額

○ 大型小売店販売額は、約 884億円で前年比で 0.8%減少した。

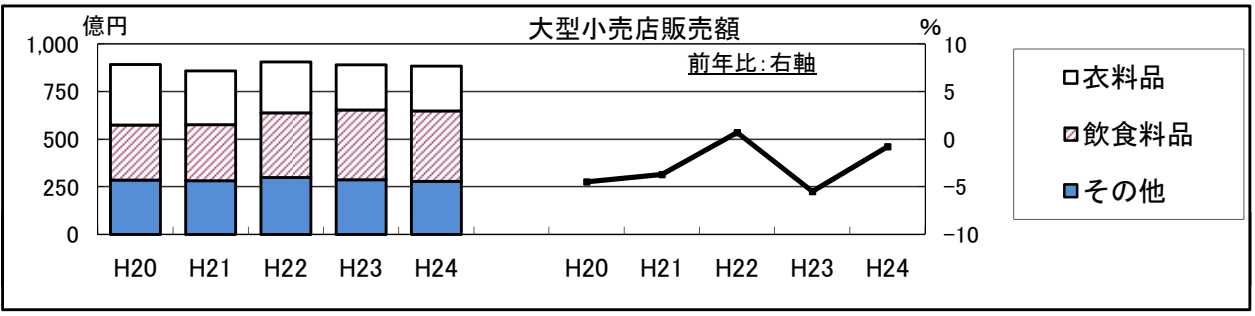
< 3-3表 >

単位：百万円、%

全体の販売額は、前年比で減少した。 飲食料品は、4年連続で増加したが、衣料品は近年減少傾向が続いている。		衣料品	飲食料品	その他	計	前年(同期)比	
							既存店
	H20	31,842	28,933	28,493	89,268	4.5	3.6
	H21	28,294	29,429	28,250	85,972	3.7	6.4
	H22	26,661	34,079	29,854	90,594	0.7	2.6
	H23	23,821	36,609	28,716	89,144	5.5	1.1
	H24	23,551	36,943	27,904	88,399	0.8	0.8
	H24	6,075	8,946	6,636	21,657	0.8	0.7
		5,752	8,468	6,834	21,054	1.0	1.0
		5,152	9,609	6,974	21,736	0.1	0.1
6,572		9,920	7,460	23,952	1.4	1.4	

(資料：経済産業省)

※ 平成22年7月に調査対象事業所の見直しを行ったため、これに関わる前年(度、同期、同月)比増減率は、この見直しに伴うギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算してある。



(4) 新車登録・届出台数

○ 新車登録台数は約 2万6千7百台 < 3-4表 >

単位：台、%

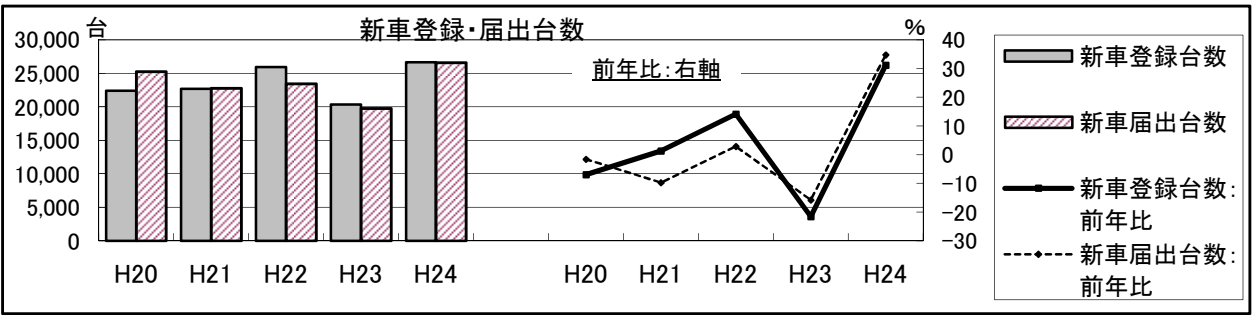
前年を31.2%上回った。
 新車届出台数は約 2万6千6百台で、前年を34.8%上回った。

エコカー補助金制度(平成24年4月～同24年9月)により好調に推移し、前年を大きく上回った。

	新車登録台数		新車届出台数	
	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比
H20	22,401	7.0	25,272	1.6
H21	22,703	1.3	22,804	9.8
H22	25,920	14.2	23,468	2.9
H23	20,337	21.5	19,756	15.8
H24	26,675	31.2	26,625	34.8
H24	8,645	63.7	7,618	40.5
	6,220	86.6	6,725	84.6
	6,706	8.9	6,651	28.0
	5,104	8.3	5,631	2.5

注) 届出自動車は、排気量 660cc以下の自動車である。

(資料：日本自動車販売協会連合会宮崎県支部)



(5) 航空便利用客数

○ 乗降客総数は約 264万人で、前年より増加した。

路線別内訳では、国内主要二航路（東京・福岡）及び国際便で前年より増加した。

主な路線の状況
単位：人、%

	乗降客数
東京	1,403,994 11.2
大阪	537,699 0.0
福岡	407,128 28.5

注 下段は、前年比である。

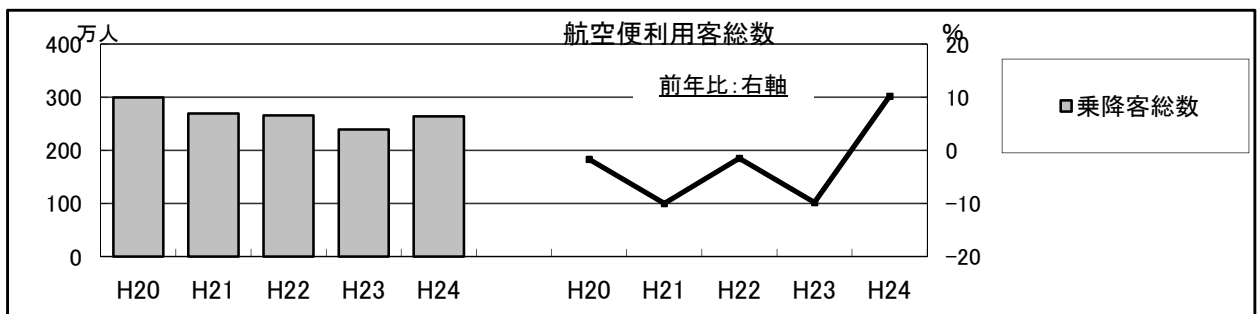
< 3 - 5 表 >

単位：人、%

		乗降客数	
			前年(同期)比
	H20	2,993,325	1.7
	H21	2,695,060	10.0
	H22	2,654,449	1.5
	H23	2,394,103	9.8
	H24	2,638,577	10.2
H24		638,645	13.5
		593,114	14.3
		701,367	5.5
		705,451	8.9

注 比較のため台湾便を除く数値である。

(資料：宮崎交通㈱)



(6) 主要ホテル・旅館宿泊客数

○ 主要ホテル・旅館宿泊客数は約105万3千人となり、前年を上回った。

主要ホテル・旅館宿泊客数は3年ぶりに100万人を上回った。

各月の状況
単位：人、%

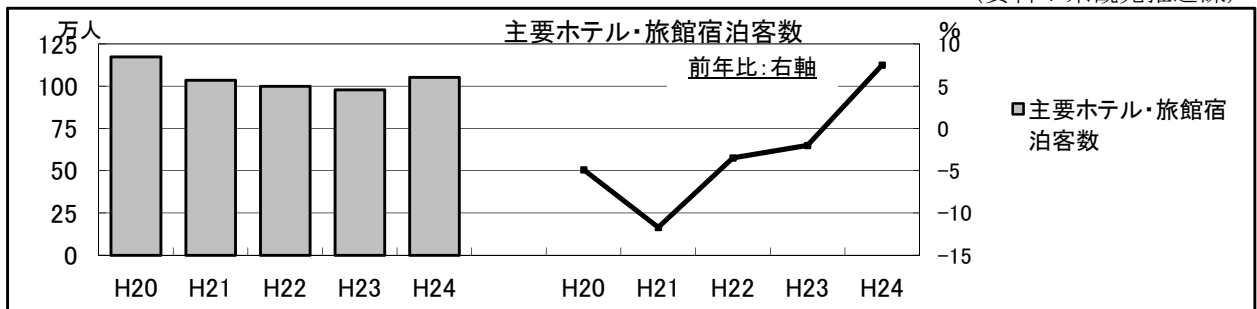
	(前年同月比)			(前年同月比)	
平成24年1月	74,751	1.8	平成24年7月	87,584	0.0
2月	105,971	32.8	8月	124,367	4.1
3月	98,176	27.0	9月	67,823	17.0
4月	77,324	38.0	10月	82,276	1.7
5月	85,738	10.9	11月	95,283	11.4
6月	71,090	14.4	12月	82,290	0.3

< 3 - 6 表 >

単位：人、%

		主要ホテル・旅館宿泊客数	
			前年(同期)比
	H20	1,173,461	4.9
	H21	1,035,785	11.7
	H22	999,736	3.5
	H23	979,463	2.0
	H24	1,052,673	7.5
H24		278,898	19.6
		234,152	19.8
		279,774	6.4
		259,849	3.2

(資料：県観光推進課)



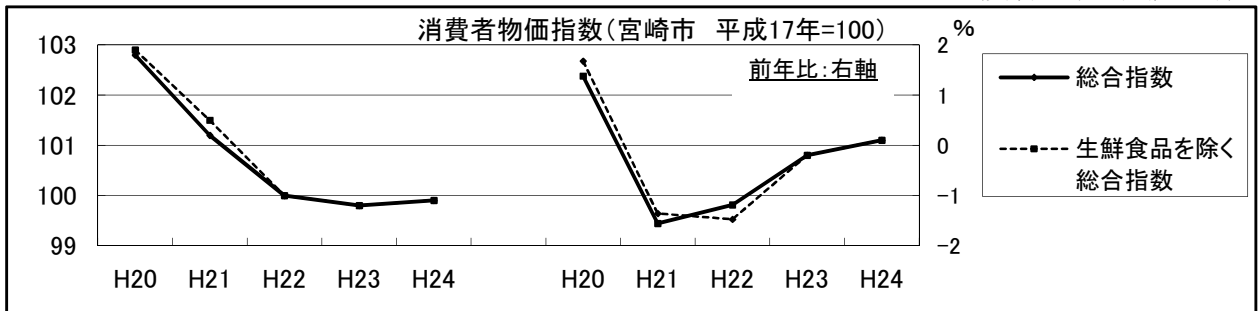
(7) 消費者物価指数(宮崎市 平成22年=100)

- 総合指数は99.9で、前年を0.1%上回った。
- 総合指数は99.9で、前年を0.1%上回った。

耐久財等が下落したものの、光熱・水道や食料品の上昇により、全体ではわずかに上昇した。

	総合指数		生鮮食品を除く総合指数	
	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比
H20	102.8	1.4	102.9	1.7
H21	101.2	1.6	101.5	1.4
H22	100.0	1.2	100.0	1.5
H23	99.8	0.2	99.8	0.2
H24	99.9	0.1	99.9	0.1
H24	100.2	0.4	99.8	0.1
	100.2	0.6	100.1	0.2
	99.8	0.0	99.8	0.1
	99.9	0.3	99.7	0.1

(資料：県統計調査課)



雇用・労働関連

～ 依然厳しい状況にあるが、緩やかな改善の動きが続いている ～

(8) 雇用情勢

- 有効求人倍率(県)は0.69倍で、前年を0.11ポイント上回り、3年連続で上昇した。

< 3-8表 >

単位：倍、%、ポイント

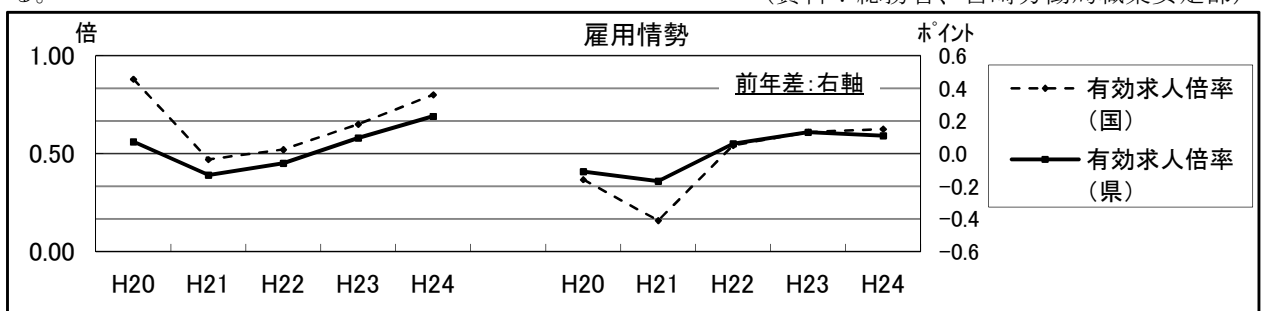
九州各県の有効求人倍率

福岡	0.70
佐賀	0.72
長崎	0.64
熊本	0.68
大分	0.73
宮崎	0.69
鹿児島	0.65
沖縄	0.40

※ 年値は原数値、四半期値は季節調整値である。

	有効求人倍率(国)		有効求人倍率(県)		完全失業率(国)	
	前年(期)差	前年(期)差	前年(期)差	前年(期)差	前年(期)差	前年(期)差
H20	0.88	0.16	0.56	0.11	4.0	0.1
H21	0.47	0.41	0.39	0.17	5.1	1.1
H22	0.52	0.05	0.45	0.06	5.1	0.0
H23	0.65	0.13	0.58	0.13	4.5	0.6
H24	0.80	0.15	0.69	0.11	4.4	0.2
H24	0.75	0.14	0.64	0.10	4.5	0.2
	0.80	0.18	0.70	0.13	4.6	0.2
	0.81	0.15	0.71	0.12	4.3	0.2
	0.82	0.13	0.71	0.10	4.0	0.3

(資料：総務省、宮崎労働局職業安定部)



(9) 求人状況

- 新規求職申込件数は、約8万件で前年を8.2%下回った。
- 新規求人数は、約8万6千人で前年を11.2%上回った。

新規求人数が多かった産業

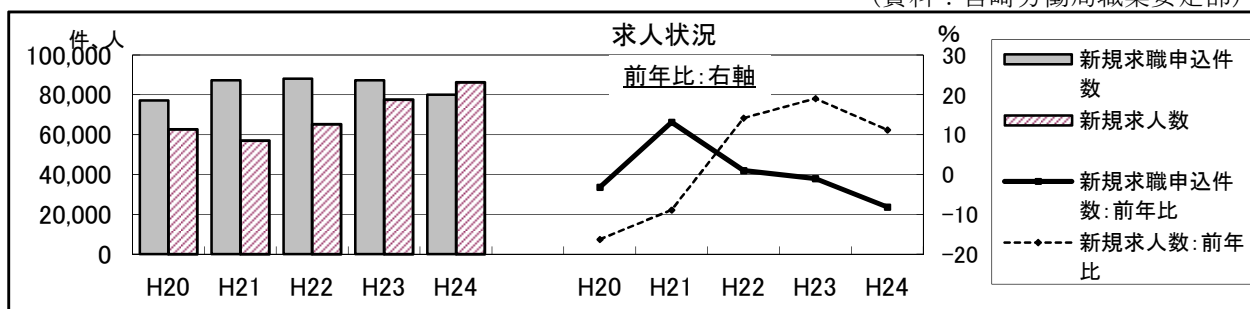
- ① 鉱業、採石業、砂利採取業 61人(前年差 25人)
- ② 医療、福祉 23,114人(前年差 6,906人)
- ③ 宿泊業、飲食サービス業 7,051人(前年差 2,023人)
- ④ 学術研究、専門・技術サービス業 1,957人(前年差 478人)

< 3-9表 >

単位：件、人、%

	新規求職申込件数		新規求人数	
		前年(同期)比		前年(同期)比
H20	77,201	3.2	62,712	16.3
H21	87,307	13.1	57,100	8.9
H22	88,158	1.0	65,205	14.2
H23	87,237	1.0	77,631	19.1
H24	80,102	8.2	86,294	11.2
H24	21,811	11.5	22,301	7.1
	23,049	8.1	21,480	17.8
	19,004	8.9	21,529	7.7
	16,238	2.5	20,984	12.9

(資料：宮崎労働局職業安定部)



(10) 労働関係指数 (平成22年=100)

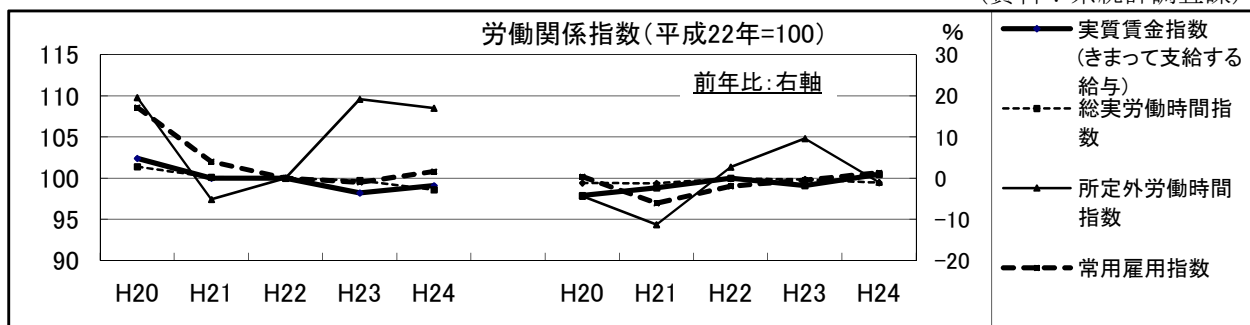
- 実質賃金指数 (きまって支給する給与) は99.1で、前年を0.9%上回った。総実労働時間指数は98.6で、前年を1.1%下回った。所定外労働時間指数は108.5で、前年を1.0%下回った。常用雇用指数は100.8で、前年を1.3%上回った。

< 3-10表 > 事業所規模5人以上

平成22年=100 単位：%

	実質賃金指数 (きまって支給する給与)		総実労働時間指数		所定外労働時間指数		常用雇用指数	
		前年(同期)比		前年(同期)比		前年(同期)比		前年(同期)比
H20	102.4	4.2	101.4	1.2	109.8	4.4	108.6	0.4
H21	100.0	2.3	100.1	1.3	97.4	11.3	102.0	6.1
H22	100.0	0.0	100.0	0.1	100.0	2.7	100.0	2.0
H23	98.2	1.8	99.7	0.3	109.6	9.6	99.5	0.5
H24	99.1	0.9	98.6	1.1	108.5	1.0	100.8	1.3
H24	100.5	2.1	98.6	0.2	112.1	1.5	99.5	0.2
	98.6	0.0	98.7	1.8	104.8	3.2	101.1	0.9
	98.3	0.7	97.9	2.0	105.6	5.7	101.7	2.3
	99.1	1.0	99.1	0.3	111.3	2.8	101.1	2.0

(資料：県統計調査課)



投資関連

～ 一部に明るさがみられるものの、全体としては低調に推移した ～

(11) 新設住宅着工戸数

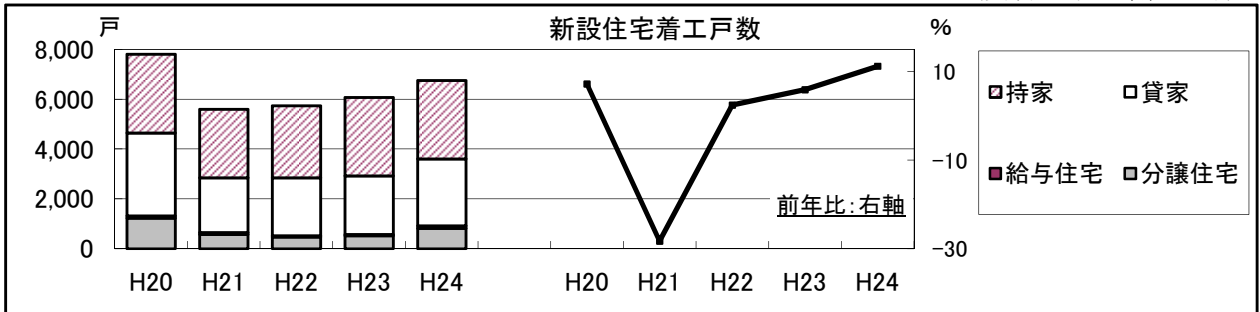
○ 新設住宅着工戸数は 6,754戸で、11.2%上昇し3年連続で前年を上回った。

< 3-11表 >

単位：戸、%

	総数		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	
H20	7,811	7.2	3,165	0.3	3,323	6.9	89	30.9	1,234	29.5
H21	5,602	28.3	2,749	13.1	2,207	33.6	68	23.6	578	53.2
H22	5,738	2.4	2,884	4.9	2,330	5.6	53	22.1	471	18.5
H23	6,076	5.9	3,145	9.0	2,361	1.3	42	20.8	528	12.1
H24	6,754	11.2	3,147	0.1	2,690	13.9	98	133.3	819	55.1
H24	1,377	18.6	669	2.8	486	35.8	0	(100)	222	100.0
	1,753	21.9	750	4.0	696	20.0	2	81.8	305	142.1
	1,677	2.3	828	1.9	652	1.7	71	787.5	126	0.8
	1,947	6.0	900	0.9	856	12.6	25	31.6	166	0.0

(資料：県建築住宅課)



(12) 公共工事請負状況

○ 公共工事請負件数は 4,703件で、前年を 3.3%下回った。

公共工事請負金額は約 1,369億円で、前年を0.4%下回った。

発注者別の請負金額では県・市町村・その他公共団体が減少した。

発注者別請負金額
単位：百万円、%

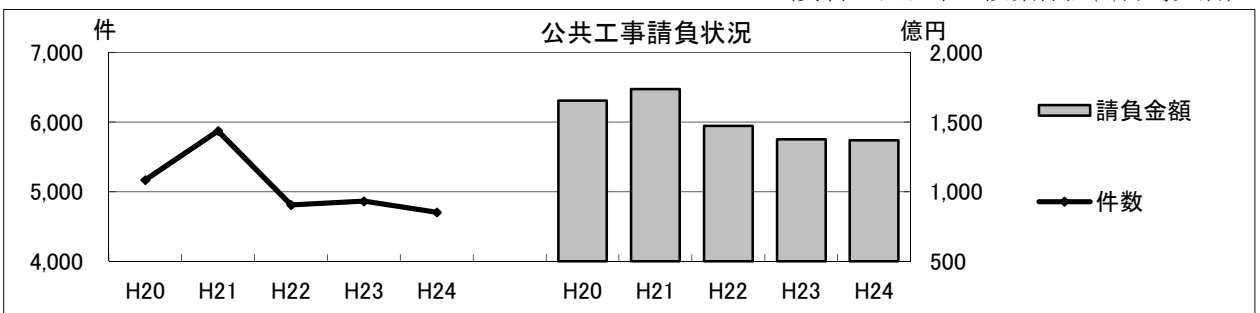
発注者	請負金額	
	前年比	前年比
国	38,081	13.0
独立行政法人等	16,356	1.7
県	43,100	2.9
市町村	36,593	9.0
その他の公共的団体	2,432	22.7

< 3-12表 >

単位：件、百万円、%

	件数		請負金額	
	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比	前年(同期)比
H20	5,168	13.7	165,601	4.1
H21	5,874	13.7	173,814	5.0
H22	4,809	18.1	147,412	15.2
H23	4,863	1.1	137,540	6.7
H24	4,703	3.3	136,947	0.4
H24	768	42.5	31,855	21.6
	1,364	111.1	33,333	10.6
	1,661	49.9	36,139	11.8
	913	48.5	35,620	3.3

(資料：西日本建設業保証(株)宮崎支店)



経営・金融関連

(13) 企業倒産状況 (負債総額1千万円以上の法人及び個人企業)

○ 企業倒産件数は68件で、前年を < 3-13表 >

単位：件、百万円、%

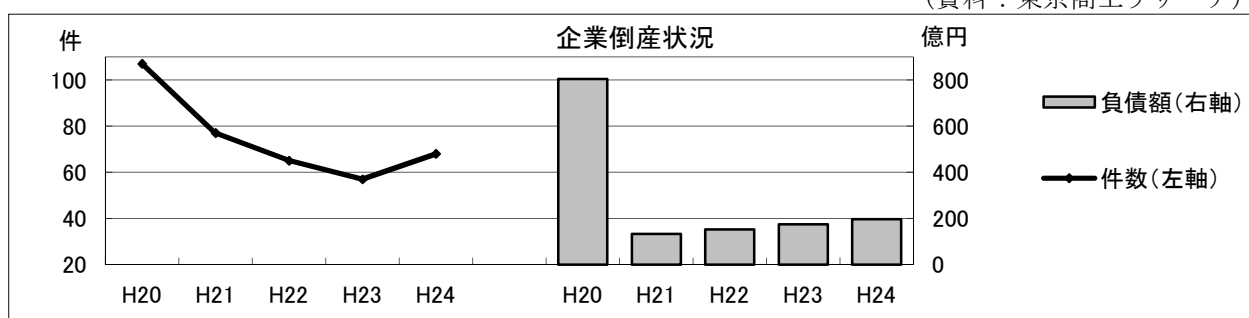
19.3%上回った。
負債額は約197億円で、
前年を12.5%上回った。

倒産件数の多かった産業

- ① 建設業 22件
(全体の32.4% 前年比 -4.3%)
- ② 卸小売業 17件
(全体の25.0% 前年比 6.3%)
- ③ サービス業 12件
(全体の17.6% 前年比 100.0%)

	件数		負債額	
		前年(同期)比		前年(同期)比
H20	107	2.9	80,448	134.1
H21	77	28.0	13,279	83.5
H22	65	15.6	15,238	14.8
H23	57	12.3	17,507	14.9
H24	68	19.3	19,698	12.5
H24	20	81.8	4,795	28.2
	15	0.0	5,277	0.4
	14	33.3	7,232	67.8
	19	90.0	2,394	96.4

(資料：東京商工リサーチ)



(14) 金融機関預金・貸出金残高

- 金融機関預金残高は3兆8千9百億円で、前年末を1.4%上回った。
金融機関貸出残高は2兆3千4百億円で、前年末を2.9%上回った。

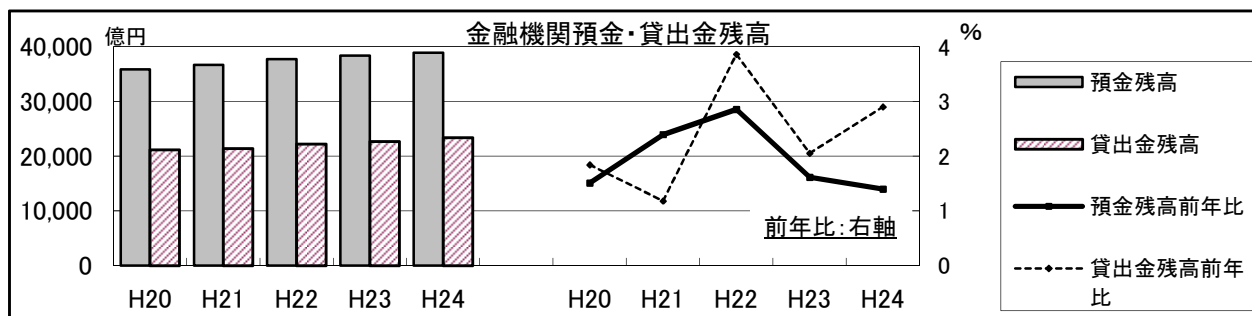
< 3-14表 >

単位：億円、%

	金融機関預金残高		金融機関貸出金残高		
		前年(同月)比		前年(同月)比	
H20.12	35,855	1.5	21,183	1.8	
H21.12	36,714	2.4	21,433	1.2	
H22.12	37,763	2.9	22,261	3.9	
H23.12	38,373	1.6	22,718	2.1	
H24.12	38,915	1.4	23,375	2.9	
H24.3	38,125	2.0	22,859	2.9	
	6	38,814	1.0	22,589	2.2
	9	38,405	1.8	23,164	3.9
	12	38,915	1.4	23,375	2.9

平成18年以降は、預金残高、貸出金残高ともに増加が続いている。

(資料：日本銀行宮崎事務所)



景気動向指数

～ 弱い動きとなった ～

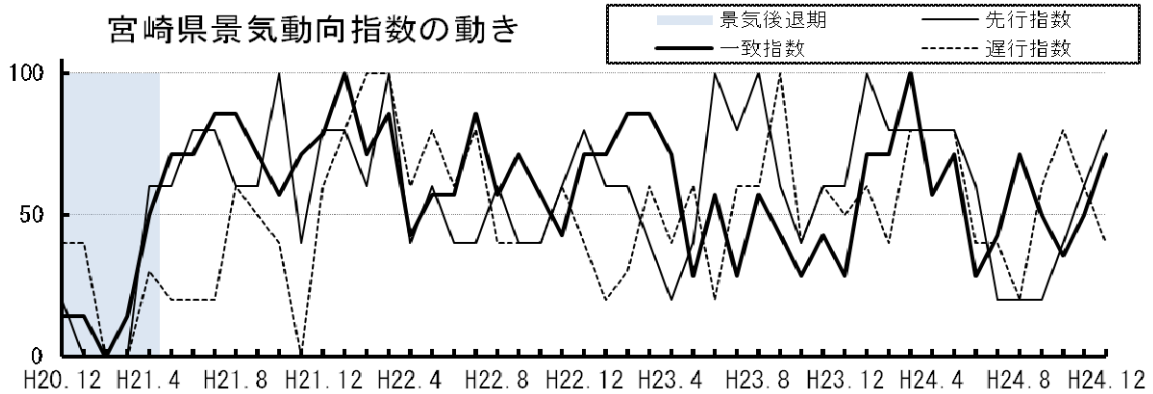
○ 一致指数は、平成24年当初は50%以上で推移したが、6月に50%を下回り、年後半はおおむね50%以下で推移した。

国は、平成23年10月に景気基準日付（平成20年2月を景気の山、平成21年3月を谷と設定。）を確定した。本県では、平成24年3月に、平成19年7月、平成21年3月をそれぞれ景気の山、谷と確定した。

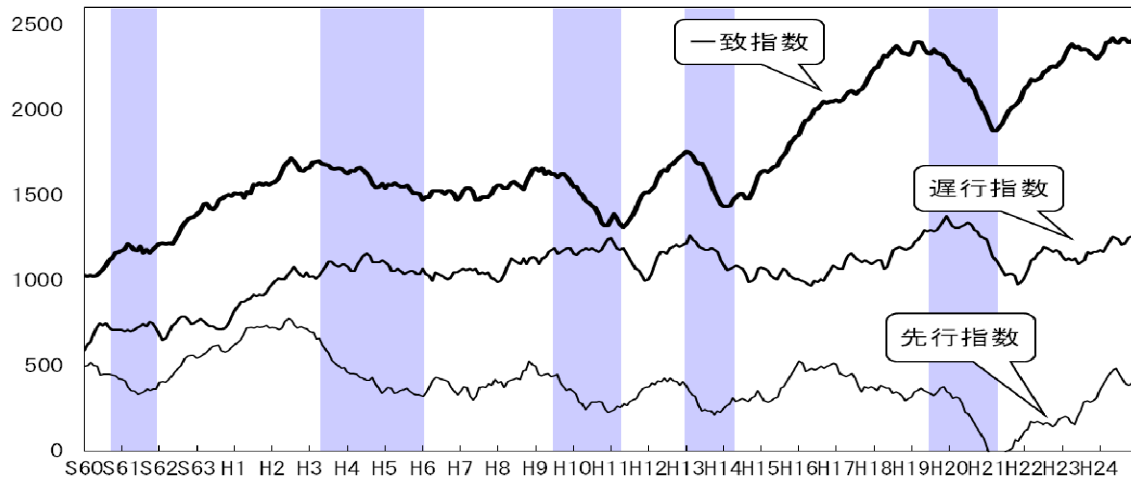
< 3-15表 >

	先行指数	一致指数	遅行指数
H24 1月	100.0	71.4	60.0
2月	80.0	71.4	40.0
3月	80.0	100.0	80.0
4月	80.0	57.1	80.0
5月	80.0	71.4	80.0
6月	60.0	28.6	40.0
7月	20.0	42.9	40.0
8月	20.0	71.4	20.0
9月	20.0	50.0	60.0
10月	40.0	35.7	80.0
11月	60.0	50.0	60.0
12月	80.0	71.4	40.0

(資料：県統計調査課)



累積景気動向指数(累積DI)



(参考)

景気動向指数 (DI) :

景気が上向きか、下向きかを総合的に示す指数です。

50%を上回って推移しているときは、景気拡張局面、下回って推移しているときには景気後退局面と判断されます。

累積景気動向指数 (累積DI) :

$$\text{今月の累積DI} = \text{前月の累積DI} + (\text{今月のDI} - 50)$$

各指数から景気判断の基準となる50を引くことで、景気の拡張・後退の動向だけを確認することができる指数です。